



グループホームさざなみ城東 介護職兼介護支援専門員

さざなみ

まつばら はるみ 松原 晴美

グループホームさざなみ城東で、介護職兼介護支援専門員として活躍する松原晴美は、20年もの長きにわたり介護業界で活躍している。自身でも「楽しい仕事」と言い切る介護の仕事に、どのような思いで取り組んでいるのか。これまでの軌跡を辿った。

— 介護職との出会いは友人の一言から —

専業主婦だった松原は、育児に余裕ができた2000年（平成12年）頃、友人に誘われて介護保険制度の講座を受講した。これが介護業界との出会いだった。勉強を始めてみると奥が深く、探究心をかきたてられたという。そうして取得したヘルパー2級のほか数々の資格を手に、訪問介護から仕事をスタートさせた。

駆け出しの頃は、手取り足取りの介

護が役に立っていると思い込んでいた。

しかし、介護を受ける相手は「自分でできることを取られた」と感じるのだと、かなり後になって知った。それからは高齢者の本音を受け止め、名実ともに頼られるまで、現場一筋でいこうと決意する。経験を積んでいくにつれ、介護サービスを受ける本人から直接相談を受けられることも増えたため、ケアマネジャーの資格を取得。2018年、さざなみの門を叩いて現在に至る。

— 意識するのは二つの「目線」 —

松原はケアマネジャーとしてだけでなく、介護士として介護の現場に立つことも多い。自身で感じてこそ見えるものを大切にしているのだ。

「様々な視点から『これが一番その人らしくいられるか』を考え、プランを立てるのが私の役目です。」

そこで意識しているのは、役割の違

いによる「目線」だ。兼任する業務は声掛けの方向性がまったく異なる。ケアマネジャーの立場なら、プラン作りのために困っていることを引き出す目線。介護士なら、現状での困りごとに寄り添う目線。業務に応じてこれらを的確に使い分け、サービスの向上につなげている。

— 一丸となったチームの功績 —

さざなみ城東のモットーは「チームケア」だ。ともに働く仲間とは、独断で行動することがないよう、互いに心がけている。松原自身、決して人の上や前に立たないように意識し、常に聞く姿勢を持ちながら職員たちと意見を交換している。そうしてできたプランを全員が共有してこそ、常に変わらぬサービスを提供でき、入居者様の安心感にもつながれるのだという。

チームケアで達成感を味わえた、嬉しい出来事もあった。体調不良から覆た

きりになっていた入居者様のため、徐々に筋力をつけていくケアプランを作成したときのことだ。全身を抱えるケアは職員にも大変な労力がかかるものだったが、全員が諦めずに回復を願い、介助に励んだ。

その甲斐があつて、3か月後には両足を踏ん張れるようになり、車いすの方へ方向転換できるようになった。つま先やかかとも少しずつ自力で動かせるようになり、6か月経つ頃には誘導があればトイレへも行けるように、そして食事の際は箸を持てるまでになった。嬉しそうに体を動かして笑う様子を見ると、こちらまで笑顔になる。入居者様の笑顔は、職員が一丸となって取り組んだケアの賜物と言えるだろう。

— 「声掛け」に勇気を持って —

現在試行錯誤しているのは、新人教育だ。介護の現場では日替茶飯事でも、

その経験が少ない人にとってはセッションナルに映る光景も多い。現実を目の当たりにし、厳しさを辞めてしまふ人も少なくない。

そこで松原が実践しているのが、初日の課題を一点に絞るというもの。一つは名前を覚えること、もう一つは、勇気を持って声掛けをすることだ。

認知症の方をケアする難しさは、コミュニケーションで感じるケースが多い。「この人誰？」と毎回恐怖心を持つ入居者様もいる中で、会話のキャッチボールをするには技術が要る。尻込みしがちな新人には、「この花、綺麗ですね」の一言から会話を始める勇気を持ってもらいたいと、指導に励む日々だ。

— これからも介護とともに —

プライベートでは、一人旅でリフレッシュするという。御朱印巡りをするのが目的で、そこでも高齢者の方々を見

掛ければ、積極的に歩み寄り、会話を弾ませている。

「どこにいても高齢者の方々には関心が向くし、やっぱり好きなんです。」その声はとても明るい。楽しい、と言える所以がここにある。

仕事においては今後も足踏みせず、更なる上を目指す。今以上に認知症に関して知識を深め、資格も取りたいと意欲的だ。飽くなき向上心を胸に、松原はこれからも成長を続けていくだろう。



さざなみ壺番館 ～秋の日常～

秋になり過ごしやすい日も多くなってきましたね。
今回は、東大阪にあるさざなみ壺番館から最近の日常をお届けします。

2階 グループホームさざなみ

2階では、敬老の日に天ぷら御膳を召し上がっていただきました。

揚げたての天ぷらにきのこの炊き込みご飯、とっても美味しそうです！
おやつには紅白まんじゅうを召し上がっていただきました。

その後、みんなで敬老の日の飾り付けを大きな紙に。
はさみで写真や絵を切り貼りし、
楽しい思い出を壁に貼り付ければ思い出も忘れませんね。



2階：みんなで丁寧に作り上げました。



3階：細かな作業も安心しておまかせ！

3階

住宅型有料老人ホーム さざなみ壺番館

3階では、秋に向けての飾り付けを入居者様と作成しました！

すだれに吊したきのこや紅葉の飾りは、入居者様の手縫いの作品。
手のひらの半分ほどの大きさですが、なんなくチクチクと縫い合わせあつという間に完成！
壁の貼り絵や天井の飾りも、入居者様と一つずつ作成。
出来上がった作品を夜勤さんが貼り付けてくれ、
一日経つとあつという間にフロアが秋模様になっていました。

敬老の日にはおはぎを皆で作ったり、ある時は男性陣が将棋で盛り上がりたりと
楽しい毎日を過ごしています。



有限会社さざなみのHP リニューアルしました！

NEW

2016年に開設した自社HPですが、
代表者変更に伴いリニューアルを行いました。
当社が提供するサービスの紹介や、
各事業所の日常の様子などをブログにアップしております。
新代表が考える当社の未来も語られています。
是非、一度ご覧になってみてください。



検索はこちらから↓

有限会社さざなみ

<http://www.sazanami-g.co.jp/>

